

学年経営

中学	改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
中学校 1年	①基本的な学習習慣の確立と学力向上を図る ②身だしなみや服装を整え、礼儀正しい態度の育成 ③健康・安全に注意し、充実した学校生活を送る ④思いやりと命を大切にすることを育む ⑤コロナ禍における学校生活を充実させる	①予習・復習を継続させ、しっかりと計画を立てて定期考査に臨ませる。 ②登下校時の四恩塔一礼や気持ちの良い挨拶を心掛けさせる。 ③時間厳守した行動と規則正しい生活習慣に取り組ませる。 ④LHRや学年集会を通して、伝えていく。 ⑤HRを通じて毎日緊張感を持って取り組みを進めていく	A	①各自の手帳に記入をさせ、定期考査毎に振り返りを行い、計画的に実行させた。 ②四恩塔一礼は良くできていたが、挨拶の声が全体的に小さかった。 ③朝礼や終礼などの時間を使い、チャイム前着席やコロナ感染予防対策などの指導を多く行った。 ④二者面談を出来るだけ取り入れ、情報収集に努め、早期に対応した。また、学年集会を定期考査毎に行えた。 ⑤HRを通して、いつ休校となっても対応できるように緊張感を持って一日一日の重要性を強調出来た。
中学校 2年	①基礎学力の定着と向上を図る ②主体的に学ぶ姿勢を身につける ③きまりを守り、落ち着いた学校生活を送る ④正しい服装と挨拶の徹底を図る	①計画的な定期考査への準備と継続的に取り組む習慣を身に付けさせる。 ②授業中は集中して取り組み、計画的かつ継続的な家庭学習を心掛けさせる。 ③道徳の時間や毎日のHRでしっかりと伝えていく。 ④朝礼時の服装の確認と元気の良い挨拶を心掛けさせる。	A	①考査範囲を出来るだけ早く掲示し、時間に余裕を持って取り組むよう考査ごとに指導を行った。 ②授業には常に緊張感を持たせ、教科担当との情報共有を行い、実行することが出来た。 ③朝礼や終礼時に、コロナ禍での生活であることを常に話し、みんなが過ごしやすい生活を心がけさせた。 ④朝礼時は姿勢を正して合掌させることが出来たが、日常の挨拶は、全体的に声が小さかった。
中学校 3年	①高校課程の基礎内容の定着と家庭学習習慣の確立を図る ②行事等で主体的に協働する力を養う ③積極的に意見交換をし、互いを尊重しながら目標に向かって努力する力を養う ④健康管理に気を付け、充実した学校生活を送る ⑤将来の進路へ向けて、自己理解と職業理解を図る	①毎週の課題・小テストとそのやり直しによって、毎日コツコツと学習する習慣を身につけさせる。 ②学年全体で話し合いや活動をする機会を適宜設ける。 ③道徳の時間を中心に、他者の考えを知り、意見交換をする機会を設ける。 ④保健委員・日直を中心に換気と手指消毒、教室内の消毒を行うほか、毎日の健康観察を徹底させる。 ⑤進路の冊子を用いて、興味のある分野を探究するほか、進路講演会などで先輩の意見を聞く機会を設ける。	B	①国・数・英を中心に、朝課外→小テストの連動を行うことで、学習習慣の定着をはかることができた。 ②③コロナ対応のため、グループ活動はできなかったものの、道徳やLHRを中心に、他者の意見をもとに考えたり活動することができた。 ④クラスの健康維持のため、保健委員だけでなくクラス全体が意識をもって対応することができていた。 ⑤冊子だけでなくzoomによる講演会に出席して、多様な話を聞くなどの活動をおこなうことができた。

4段階評価	A: 大いに改善あり B: だいたい改善あり C: やや改善なし D: 全く改善なし
-------	---